



小学校 6年()組()番 名前()

6年生で身につけておいてほしい力とすがた

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、6年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。6年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

卒業するときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

好きなこと・今夢中になっていること

児童が自分自身が好きなこと、今夢中になっていることを自由に書く欄です。好きなことや夢中になっていることは、将来の希望や夢をもつことにつながります。

また、好きなこと、今夢中になっていることを考えることは、「広島県の15歳の生徒に身につけておいてもらいたい力」である「自己を認識する力」にもつながります。児童が書いたことを肯定的に受けとめ、認め励ます声掛けをお願いします。



1学期

1学期が終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を踏まえて、自らの目指す姿を設定させてください。目指す姿が書けない児童は、頑張ることを書かせてもよいです。

2学期

2学期が終わったときこんな自分になりたい

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張りを続けていることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。

3学期

3学期が終わったときこんな自分になりたい

1年間をふり返って、最高学年としてがんばったことやみんなのためにしたこと、成長したと思うこと

どんな些細なことでもよいです。自分の成長を気付かせてください。学級活動等で、他者からの評価をもらうことも有効です。これまでの学年と比較し、自分の成長を振り返ることで、この1年間の成長を実感させることも考えられます。

小学校生活をふり返って
(成長したと感じたことやそのきっかけ)

「キャリア・ログ」やその他の資料で振り返ることで、成長を実感させるようにします。

しょう来は、こんな大人になりたい

頑張ったことや自分のよいところを振り返った上で、将来になりたい自分について、じっくり考えさせることが大切です。
また、になりたい大人像や就きたい仕事を考え、それと日々の生活を結び付けることも重要です。
児童の記述が不十分と感じた場合、記述内容を認めた上で「そう思った理由やきっかけ」を考えさせ、記述させましょう。

先生からのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。

先生からのメッセージ

中学校生活に向けて、先生からのメッセージ

家の人などからのメッセージ